

令和 3 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	66	学校名	茨城県立竹園高等学校					課程	全日制			学校長名			川村 始子			
副校長	松本 一浩				教頭				荒井 豊水			事務（室）長名			宮本 文			
教職員数	教諭	58	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	5	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	4	ALT	1	計	79
生徒数	小学科			1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通、国際 科			176	144									176	144	8		
	普通 科					122	115	112	119			234	234	12				
	国際 科					36	45	38	43			74	88	4				

2 目指す学校像

学校教育目標

個性と創造性の伸長を図り、社会の要請に応え得る広い視野と、磨かれた知性・たくましい体力・気力を合わせ持つ人材の育成を図るため、以下の項目を重点とした学校づくりを行う。

○自己・他者・地域・国際社会などの多角的な視点を持ち、諸問題に対する幅広い関心と理解のもとに調和のとれた課題解決を図ることができる資質能力の育成を図る学校。

○英語・日本語など複数の言語で議論するコミュニケーション能力を磨き、他者の意見を尊重しながら協働して合意形成を図ることができる資質能力の育成を図る学校。

○自国の文化や歴史を尊びアイデンティティを確立し、持続可能な共生社会の実現に向けて主体的に考えて行動できる人間の育成を図る学校。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導について	「授業第一」をモットーに生徒が主体的に学習に取り組む指導を心がけている。家庭学習については自己管理を促しており、計画的かつ充実した家庭学習を習慣化するための時間管理等の指導を行っている。	生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業や教科横断型の知識を構築する指導法をさらに充実させる。I C Tをさらに活用する授業運営を進める。
進学指導について	難関国公立大学進学希望者が増え、情報提供と面接指導等の丁寧な進学指導体制で取り組んでいる。現役国公立大学合格者数は200名(東大1名、医学部4名、難関10大学〔旧帝大+東工+一橋+神戸〕17名、筑波大学48名等)と昨年より国公立大学の合格者数が大幅に増加した。	計画的・継続的な進路相談・情報提供により、進路意識の向上を図る。第一志望校合格の実現に向けて、粘り強さと高い志を保つ姿勢を育成する。最上位層の指導に一層の工夫を要する。
生徒指導について	ほとんどの生徒は高い規範意識を持っている。指導の工夫により、問題行動もほとんどない。	主体的・自律的な生活態度の育成、特に交通マナー等の意識向上を図る。
特別活動について	生徒会や実行委員会により、学校行事の企画運営は生徒主体で行っている。部活動の加入率も高い。	生徒の自己の生き方や進路を真剣に考える機会とするため「キャリア・パスポート」をさらに活用する。
働き方改革について	教職員一人一人が、やりがいと充実感をもって業務に取り組んでいるが、勤務時間超過の教職員も多い。(令和2年11月の平均超過勤務時間は約42時間)	教職員のワーク・ライフ・バランスを含めた時間管理や健康管理に課題がある。I C Tの活用を進めるなどさらに勤務時間短縮への工夫が必要である。

4 中期的目標

本校教育の核である活力ある進学指導を推進し、特色ある学校づくりを目指す。

- 1 充実した授業と信頼関係に基づく丁寧な指導により、生徒の高い次元での進路希望の実現を図る。
- 2 自ら学ぶ姿勢(信念・気概・自学自習の精神)、考える力や主体性を持つ自己教育力のある生徒の育成を図る。
- 3 学業面に加え、教科外活動やボランティア活動にも力を入れ、「知徳体」のバランスのとれた人格形成を図る。
- 4 教職員一人一人が、適切な量の業務を行い、自身の健康および福祉の確保をし、教育活動の水準の維持向上を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学習指導，進路指導および生徒指導の充実	① SDG s 未来都市つくばの国際性豊かな環境を生かした教育活動を行う。 ② ICT を活用し、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けたさらなる授業改善，指導法研究を行う。 ③ 家庭学習時間の自己管理を促すとともに，学習時間を確保するための指導を強化する。 ④ 自律的な生活態度・規範意識を向上させ，効果的な学習・進路指導に繋げる。 ⑤ 生徒の進路希望実現に向けて，大学入学者選抜改革にも対応した組織的な支援を行う。
2 豊かな心の育成	⑥ 「道徳」，「道徳プラス」を活用し，人権感覚を身に付け，人間力を養う。 ⑦ 特別活動への積極的な参加を促し，「キャリア・パスポート」を活用することにより，知徳体のバランスのとれた人間性を育む。 ⑧ 校舎内外の清掃，学校施設の充実に努め，快適な学習環境を整える。
3 「グローバルリーダー」育成事業の推進	⑨ 県指定である「県立高等学校等チャレンジ・プロジェクト」(重点校)の活動を通して，将来国際社会で活躍できるグローバルリーダーの育成を図る。 ⑩ 「探Q」活動の充実と拡大を図る。 ⑪ ACEプログラムの一層の充実を図る。
4 情報発信の充実	⑫ 学校HP，スクールガイドの内容を向上させ，情報発信を充実させる。 ⑬ 学校説明会の内容を充実し，本校の魅力を正しく伝える。 ⑭ 地域，近隣の小・中学校，PTA，同窓会との連携を密にする。
5 働き方改革の推進	⑮ ICT の利活用等により校務処理や教材研究の効率化・効果化を推進し，教員のゆとりを生み出し，教育活動の質を向上させる。